

## 【概 要】

アジア・太平洋地域 航空担当大臣級会合

- アジア・太平洋地域には、我が国のような航空先進国がある一方で、航空規則や空港設備等が十分に整備されていない国も多数存在しています。同地域においては、大幅な航空交通量の増大が予測されており、航空安全及び航空管制にかかる各種課題への取組みが急務となっています。
- こうした課題に対する取組みを加速させるために、より高いレベルで問題意識を共有することを目的とし、中国・北京にてICAO(国際民間航空機関)及び中国民用航空局の共催によって「アジア・太平洋地域 航空担当大臣級会合」が初めて開催されました。
- 中国から馬凱 副首相及び李小鵬 交通運輸部長等が参加するなど、各国の閣僚級が参加しました。我が国からは築国土交通大臣政務官を首席代表とする代表団が参加しました。
- 会合の冒頭には、各国の首席代表より、航空安全及び航空管制にかかる取組み等についてスピーチが行われました。我が国からは築大臣政務官が、アジア・太平洋地域における航空安全及び航空管制分野の更なる発展に寄与していくことを表明した他航空機からの落下物に対する我が国の対策について説明するとともに、各国代表団に理解と協力を求めました。
- 本会合においては、同地域の航空安全、航空管制、事故調査及び人材育成の各分野における様々な課題を共有するとともに、これらの課題に対する取組みを加速させることをコミットする大臣宣言が全会一致で採択されました。



会合における築大臣政務官によるスピーチ